

校長室から  
(H31年度)

# ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 6

平成31年4月22日(月)発行

## 次年度より、新学習指導要領スタート

新学習指導要領の全面実施まで1年を切りました。今年度は、新学習指導要領への移行期2年目(最終年)です。この学習指導要領は、国が定めた学校教育の基準です。学習指導要領が変わると、教育課程も変わります。保護者のみなさまにも、新学習指導要領についてご理解いただき、ご協力をお願いします。

新学習指導要領の前文には、「よりよい学校教育を通して、よりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し」「家庭や地域社会と協力して、学習指導要領を踏まえた教育活動の更なる充実を図っていく」と示されています。これは、「社会に開かれた教育課程」という、新学習指導要領の理念です。他にも、授業改善に向けた「主体的・対話的で深い学び」「カリキュラム・マネジメント」などの理念が示されています。

学校として、最も重視していくことは、言うまでもなく授業です。理念の一つである、授業改善に向けた「主体的・対話的で深い学び」は、今年度から実施されている「学習指導要領 総則」に示されています。授業を子どもたちのために、よりよくしていく授業改善に本校も力を入れており、今年度、さらに充実させていきたいと考えています。この理念に示されて言葉を見つめていくと、「主体的な学び」は、子どもが自分の考えに自信を持って授業に臨むことが大切です。「対話的な学び」を進めていくためには、友だちの意見や考えを尊重して、学んでいく姿勢が大切です。これらのことが「深い学び」につながっていきます。そう考えると、学校だけでなく、ご家庭でも、新学習指導要領を踏まえて、「主体的な学び」を進めるために、子どもに自信を持たせる言葉かけをして、自己肯定感を高めていくことや、「対話的な学び」を支えるために、友だちとの関わりを大切にしよう話したり、時として諭したりすることが大切になってきます。

子どもの力を伸ばすためには、学校教育だけでなく、家庭教育や地域社会との連携が重要になっていきます。新学習指導要領の理念の下、本校の子どもたちの教育のため、学校で目指すことをご理解いただき、ご家庭でも、地域社会の場でも、学校の教育活動を支えていただきますようお願いいたします。



## 水の事故に要注意です!

この時期に水の事故がよく起きています。

- ・平成24年、安威川で尊い2名(川で溺れた中学生と、中学生を助けようとした大人)の人命が失われた事故が4月21日でした。
  - ・平成27年、本市小学校3年生が溺れ、救急搬送された事故が4月23日。
  - ・平成28年、福知山市で川遊びをした中学生が亡くなる事故が4月24日。
- と、この時期に集中しています。

気温も上がり、水が恋しくなって身近な川に遊びに行くことがあるようです。ところが、気温が高くても水温が低いこの時期は、冷たい水に急につかると、筋肉が固まり体の動きが鈍くなったり、呼吸が乱れたりする「冷水反射」を起こしやすくなります。それが溺れる原因の一つとなっています。

今年のゴールデンウィークは、10連休です。(4/27(土)~5/6(月))子どもだけで川に遊びに行くことがないようにしてください。

## 「オアシス」運動と「あすは」運動

「オアシス」とは、「オ」が「おはよう」、「ア」が「ありがとう」、「シ」が「失礼します」、「ス」が「すいません」です。

「あすは」とは、「あ」が「ありがとう」、「す」が「すいません」、そして「は」が明るい返事の「はい」です。

「あいさつで、心の天気が変わります。」元気に、明るく、自分からあいさつをしましょう。どんより曇った心がスッキリ晴れるでしょう。

「あいさつで、笑顔広がる。心つながる。」明るいあいさつが笑顔をつくり、明るいあいさつが楽しい学校をつくるのです。毎日楽しい学校にしましょう。「第一印象は、笑顔とあいさつ」これができないと大人としても…?です。

## みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

### ルール14 自分からごほうびをほしがってはいけない

よいことをしたからといって、「ごほうび、もらえる?」と自分から聞くのは礼儀に反する。

●よいことをするのは、ごほうびをもらうためではない。きみたちは自分を高めるために、よいことをしたりベストをつくしたりするべきだ。ごほうびより、きみのした努力のほうが、ずっと大切だ。